

実施期間

令和6年10月11日～令和6年10月31日

対象者

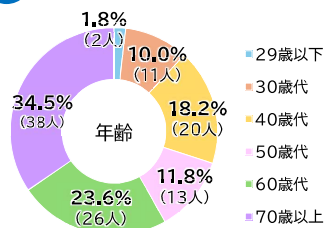
上台北駅北西地区の土地・建物所有者 全340名

回収率

38.8%
回答数 114 名 / 有効数 294 名

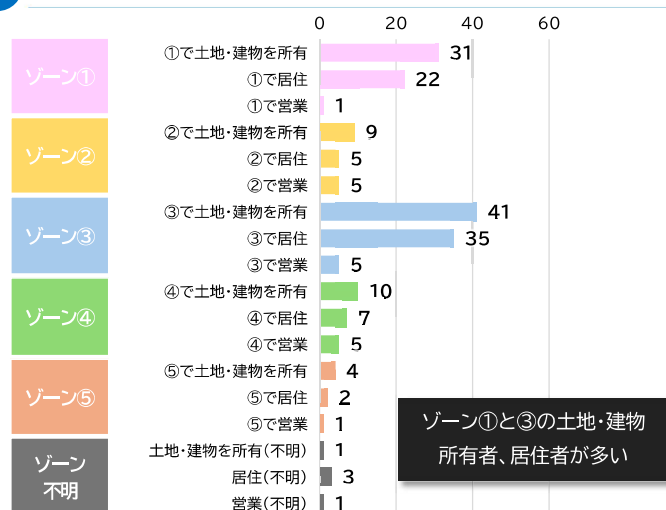
回答者の属性

1 年齢 回答数:110人



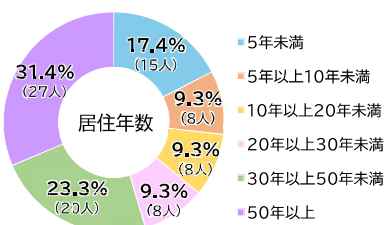
- 60歳以上が半数以上
- 30歳以下は1割程度

2 対象地区との関係



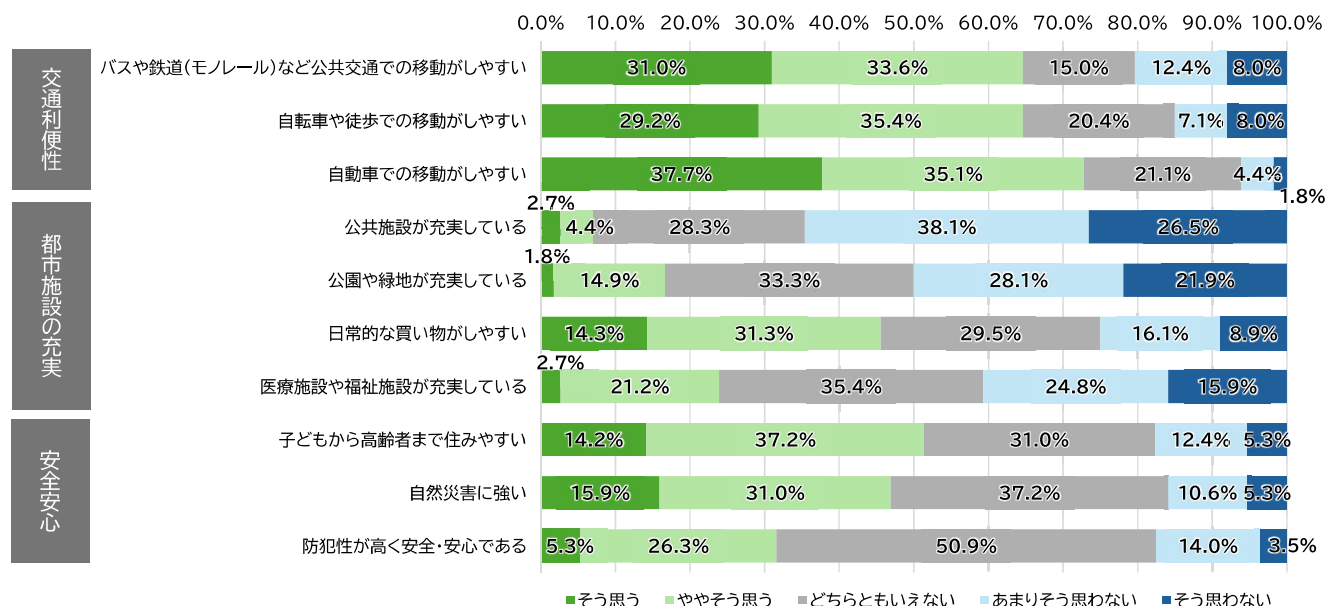
ゾーン①と③の土地・建物所有者、居住者が多い

3 居住年数 回答数:86人



- 30年以上が半数以上
- 5年未満も2割程度

対象地区の現状



交通利便性

公共交通や自転車・徒歩、自動車での移動がしやすいと思う人が6割以上

都市施設の充実

公共施設、公園緑地は「充実していない」と思う人が半数以上「買い物しやすい」、「医療・福祉施設が充実」と思う人は少ない

安全安心

「子どもから高齢者まで住みやすい」、「自然災害に強い」と思う人がほぼ半数

その他に回答者が感じているまちの特徴等（キーワードの抜粋）

良いところ

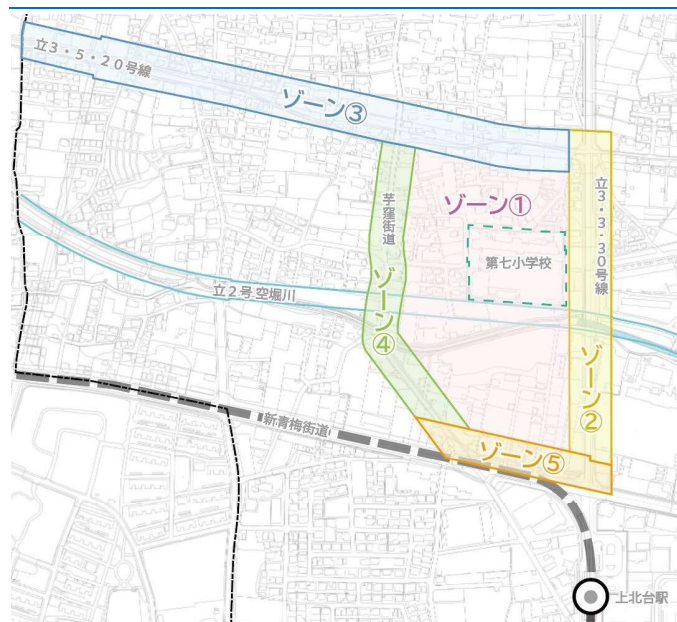
- 静かで住みやすい
- 駅から近い
- 緑が多く、ゆとりある生活環境
- 地区外の人が入り込みにくい安全

良くない・改善したいところ

- 駅から遠い場所ではバスがなく不便
- 子ども・家族向けの遊べる公園や児童館など公共施設があると助かる（公民館と児童館などの機能を複合化するなど）
- スーパー、飲食店などがなく不便
- 歩道がない・狭い・段差があるため危険を感じる（特に子ども連れ）
- 街灯が少なく夜間は危険な印象
- 緑が少ない

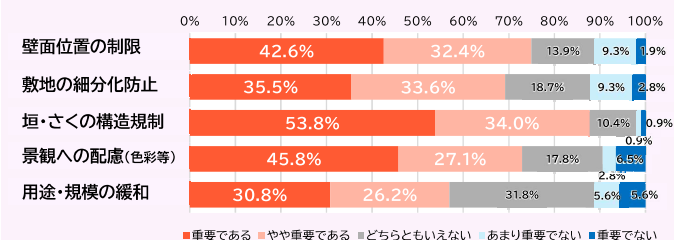
上北駅北西地区周辺のまちの将来像（ゾーン別の将来像）

ゾーン区分図（※色塗り地区がアンケート対象地区）



ゾーン① | 低層住宅地区

まちづくりの方向性の実現に向けて重要なこと



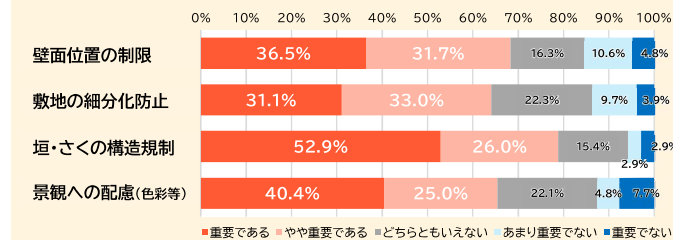
すべての項目で半数以上が「重要・やや重要」
特に「垣・さくの構造規制」は9割近くが「重要・やや重要」

その他重要なこと（キーワード抜粋）

- 自然を残しつつ、住宅・店舗をつくっていく
 - 様々な施設を建設・誘致できると良い
 - ブロック塀や生垣は見通しが悪くなるため危険
 - 駅周辺の特性を活かし、店舗や公共施設などを重視
- など

ゾーン② | 3・3・30 立川東大和線沿線地区

まちづくりの方向性の実現に向けて重要なこと



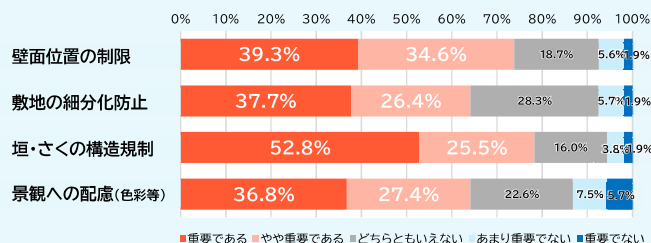
すべての項目で6割以上が「重要・やや重要」
特に「垣・さくの構造規制」は8割近くが「重要・やや重要」

その他重要なこと（キーワード抜粋）

- 主要道路沿いくらいは外観に配慮した店舗・施設が並ぶべき
 - 商売のできる店舗ビルがあると活性化にもつながるし人も集まる
 - 駅から所沢に抜けるメイン通りとしてイメージが良い開発
- など

ゾーン③ | 3・5・20 東大和武蔵村山線沿線地区

まちづくりの方向性の実現に向けて重要なこと



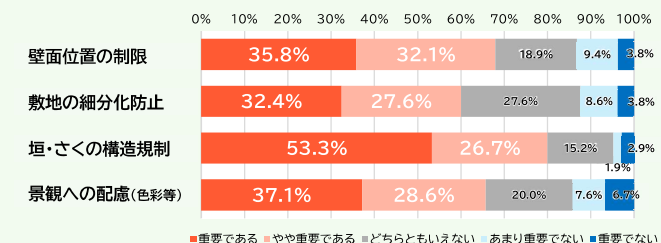
すべての項目で6割以上が「重要・やや重要」
特に「垣・さくの構造規制」は8割近くが「重要・やや重要」

その他重要なこと（キーワード抜粋）

- 広い道路のため、3階建て以上の建物に緩和できると良い
 - ゆとりのある道路のため、少し商業化されても良い
 - 公共施設を増やす
- など

ゾーン④ | 芋窪街道沿線地区

まちづくりの方向性の実現に向けて重要なこと



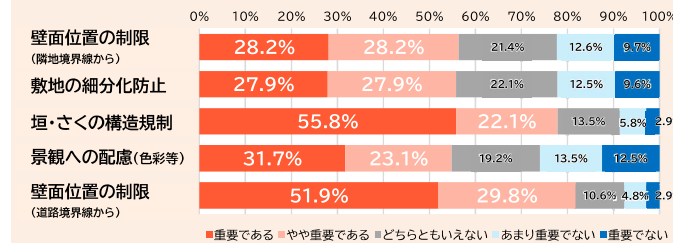
すべての項目で6割以上が「重要・やや重要」
特に「垣・さくの構造規制」は8割が「重要・やや重要」

その他重要なこと（キーワード抜粋）

- 歩道が広くなると良いため、ブロック塀は高さを規制すると良い
 - 緑は低樹木とし、車道と自転車道を区別する
- など

ゾーン⑤ | 新青梅街道沿線地区

まちづくりの方向性の実現に向けて重要なこと



すべての項目で半数以上が「重要・やや重要」
特に「道路境界線からの壁面位置の制限」は8割近くが「重要・やや重要」

その他重要なこと（キーワード抜粋）

- モノレールができるため、道路にできるだけ余裕があると良い
 - 多数の住人が利用する店舗や施設を集める
 - 上北駅前にいろいろなお店ができればもっと発展する
 - 葬儀関係の建物は駅から遠ざける
- など